



研究活動一覧

「研究活動一覧」は、当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を、読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては、直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
會田陽久	農業・農村政策の動向	韓国農業の展開と戦略（行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料第2号）	2006. 3
會田陽久	食料消費構造と農産物需給	韓国農業の展開と戦略（行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料第2号）	2006. 3
會田陽久	国際化対応	韓国農業の展開と戦略（行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料第2号）	2006. 3
伊藤順一	過剰就業論の今日的課題	泉田洋一編『近代経済学的農業・農村分析の50年』（農林統計協会）	2005. 7
Junichi Ito	Comparative Advantage in International Trade: Empirical Evidence to Disprove "Pop Internationalism"	Proceeding of Northeast Asian Symposium on Agricultural Product Trade, Chonbuk National University	2005.11
Junichi Ito	Economic and Institutional Reform Packages and their Impact on Productivity: A Case Study of Chinese Township and Village Enterprises	Journal of Comparative Economics 34 (1)	2006. 3
上林篤幸	環境・資源制約条件としての世界の土壌および水資源——世界食料需給予測のための概観——	輸入食糧協議会報	2006. 5
上林篤幸	米国におけるBSE牛の発生と、我が国の取った対策及び牛肉市場の動向	肉牛ジャーナル	2006. 6
岡江恭史	2000 年夏期ソム・チャイノイ金融調査報告	百穀社通信 第12号	2006. 2
岡江恭史	農業銀行・貧民銀行調査報告	百穀社通信 第13号	2006. 2
岡江恭史	ベトナム農民組織の新潮流	2005 年度日本農業経済学会論文集	2006. 3
小野智昭	農業センサスにみる農地利用後退の現状——耕作放棄地の同行および要因分析にあたって——	耕作放棄地の急増が地域農業や農業融資に与える影響について（長期金融）95	2006. 3
香月敏孝	野菜生産の動向——1980年代以降の施設作の展開を中心に——	韓国農業の展開と戦略（FTA・WTOプロジェクト研究資料） 2	2006. 3
香月敏孝・柳 京熙	パプリカ生産における国内・外の生産・流通の変化	「野菜情報」農畜産振興機構	2006. 6

研究員名	表 題	発表誌, 巻・号	発表年月
金子いづみ	集落営農の組織形態に関する研究——労働力構成を中心として——	東京大学学位請求論文	2005. 4
金子いづみ	(書評) 細山隆夫著『農地賃貸借の進展の地域差と大規模借地経営の展開』	農業問題研究 第59号	2006. 3
河原昌一郎	農業組織化と市場安定化のための政策効果分析	国際農業研究情報 No.48	2006. 3
木下順子	「食品安全性への消費者の不安が生乳需給に及ぼす影響」	酪農ジャーナル 5月号	2006. 5
Junko Kinoshita	"Explaining Pricing Conduct in a Product-Differentiated Oligopolistic Market: An Empirical Appreciation of a Price Conjectural Variations Model"	New Empirical Industrial Organization and the Food System. (Harry Kaiser, Nobuhiro Suzuki 編著) Peter Lang Publishing (New York)	2006. 5
木下順子・渡辺靖仁・鈴木宣弘	「日本人の牛乳消費は飽和したか」	農畜産業振興事業団『畜産の情報(国内編)』 6月号	2006. 6
小泉達治	ブラジルのエタノール・砂糖政策の展開と課題	2006年度春期日本国際地域開発学会報告要旨 2006年度春期号	2006. 4
小泉達治	ブラジルにおけるバイオエタノール政策の動向と課題	Techno Innovation 59号, 2006年3月号	2006. 4
小泉達治	国際砂糖価格と需給に与える要因～ブラジルにおけるエタノール政策・需給動向	砂糖類情報 No.115,2006	2006. 4
小泉達治	ブラジルにおけるバイオエタノール政策の動向と課題	食料と安全 第58巻第4号	2006. 4
小泉達治	バイオエタノールの普及と世界のとうもろこし需給	Denaro(商品市況研究所) 第143号, 2006年6月号	2006. 6
小島泰友	輸入関税削減及び農業効率向上がもたらす価格伝達性への相互的影響——「新しい産業組織論」に基づく理論的考察——	日本フードシステム学会2005年度大会個別報告要旨	2005. 6
小林茂典	たまねぎ、トマト、かぼちゃの生産・流通状況	平成17年度野菜等健康食生活協議会外食・中食野菜等利用増大検討小委員会報告書	2006. 3
小林茂典	外食モデル店舗における野菜利用増大および普及啓発の効果検証について	平成17年度野菜等健康食生活協議会外食・中食野菜等利用増大検討小委員会報告書	2006. 3
Takeshi Sakurai	Intensification of Rainfed Lowland Rice Production in West Africa: Present Status and Potential Green Revolution	Developing Economies Vol. XLIV, No. 2	2006
櫻井武司・田中 樹・真常仁志・内田 諭	サヘル農家の脆弱性と土壌劣化の関係解明および政策支援の考察	地球環境研究総合推進費平成16年度研究成果——中間成果報告集——(環境省地球環境局研究調査室) 第IV巻	2006. 2
Takeshi Sakurai	Analyses of Household and Community Responses to Environmental Variability: The Case of Drought in the Semi-Arid Tropics	Vulnerability and Resilience of Social-Ecological Systems: FY2005 Project Report (Research Institute for Humanity and Nature)	2006. 2
櫻井武司	戦乱ショック、貧困、土壌劣化——ブルキナ・ファソの農家家計データを用いた実証——	農業経済研究 第78巻第1号	2006. 6
櫻井武司	農民参加型品種選抜: WARDAにおけるネリカの開発と普及を例にして	耕 109号	2006. 6

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
佐々木宏樹	環境支払いによる多面的機能の効率的な供給 ——行動経済学の政策適用——	2006年度日本農業経済学会大会報告要旨	2006. 3
佐藤孝一	地域経済と人口交流	第41回東北農業経済学会宮城大会報告要旨	2005. 9
佐藤孝一	Implementation of ISO14001 in Farm Management: Case of Muchachaen	Farming Japan 39 (6)	2005.12
鈴木源太郎	農業経営者の経営者能力に関する実証的研究 ——わが国における認定農業者を対象として——	東京大学学位請求論文	2006. 1
鈴木源太郎	認定農業者の経営管理能力の実態と支援施策のあり方——認定農業者を対象としたアンケート調査結果から——	農業問題研究 第59号	2006. 3
鈴木源太郎	認定農業者の経営改善に向けたマーケティング活動の現状と課題に関する調査結果	『平成17年度経営情報総合調査分析事業 農業経営基礎調査結果報告書、認定農業者の経営改善に向けたマーケティング活動の現状と課題及び特定農業法人・特定農業団体の経営実態と販売促進活動等に関する意向調査結果』、全国農業会議所	2006. 3
鈴木源太郎	認定農業者の経営者資質に関する一考察——農業経営者のモチベーションと経営成果——	八木宏典編著、『農業経営の持続的成長と地域農業』、養賢堂	2006. 6
高橋祐一郎	専門家と市民との意識の隔たり	「バイテクハウス Mail News」2006/3/1 号	2006. 3
高橋祐一郎	専門家が市民に対して行う情報提供の効用と限界	「バイテクハウス Mail News」2006/3/10 号	2006. 3
高橋祐一郎	専門家と市民の社会的価値の違い	「バイテクハウス Mail News」2006/3/20 号	2006. 3
高橋祐一郎	社会的問題と科学の中立性	「バイテクハウス Mail News」2006/3/31 号	2006. 3
高橋祐一郎	市民参加型テクノロジー・アセスメント (Participatory Technology Assessment; PTA) とは	「バイテクハウス Mail News」2006/4/10 号	2006. 4
高橋祐一郎	市民参加型テクノロジー・アセスメント (PTA) の社会的効果	「バイテクハウス Mail News」2006/4/20 号	2006. 4
高橋祐一郎	市民とのコミュニケーションを目的とした取り組みへの意識	「バイテクハウス Mail News」2006/4/28 号	2006. 4
立川雅司	フード・ポリティクスとアメリカ	農業と経済 臨時増刊号	2006. 4
立川雅司	産業政策か、環境政策か：GMOをめぐるアメリカとEUの違いを探る	DAIRYMAN 56. 5	2006. 5
西尾 健	政策研究	農林水産技術会議の50年 312-314	2006. 6
長谷川晃生	農協における農業金融の課題——農業金融を巡る環境変化を踏まえて——	農業と経済 第72巻・第7号	2006. 6

研究員名	表 題	発表誌, 巻・号	発表年月
樋口倫生・吉田泰治	「牛の月齢判別に関する検討会」報告書に対する考察	日本フードシステム学会 2005 年度大会 個別報告要旨	2005. 6
樋口倫生	韓国農業部門の相対的縮小要因	2006 年度日本農業経済学会報告要旨	2006. 3
樋口倫生	農業の位置付け	韓国農業の展開と戦略(第2号)(FTA・WTO プロジェクト研究資料)	2006. 3
樋口倫生	食品産業	韓国農業の展開と戦略(第2号)(FTA・WTOプロジェクト研究資料)	2006. 3
福田竜一	政治的圧力が関税交渉に及ぼす影響	2006 年度日本農業経済学会大会報告要旨	2006. 3
藤岡典夫	(書評) 岩田伸人著『WTOと予防原則』	フードシステム研究 12 (3)	2006. 2
松久 勉	最近の人口移動の動向	「最近の人口移動の動向と, 「自然減, 社会増」の市町村の姿」(科研費「人口減少時代における農業・農村の持続性確保と効率的代謝・再編過程に関する研究」中間報告書)	2006. 3
松久 勉	「自然減, 社会増」の市町村の姿	「最近の人口移動の動向と, 「自然減, 社会増」の市町村の姿」(科研費「人口減少時代における農業・農村の持続性確保と効率的代謝・再編過程に関する研究」中間報告書)	2006. 3
松久 勉	農業地域類型別に見た人口及び社会移動の動向	「最近の人口移動の動向と, 「自然減, 社会増」の市町村の姿」(科研費「人口減少時代における農業・農村の持続性確保と効率的代謝・再編過程に関する研究」中間報告書)	2006. 3
松久 勉	「高齢化の動向と日本の農業, 農村」	「ひまわり」(日本農業機械工業会会報) Vol.25	2006. 3
松久 勉	「昭和1ケタ世代の動向と今後の見通し」	DAIRYMAN 56.4	2006. 4
吉井邦恒	アメリカの次期農業法をめぐる動向	Techno Innovation Vol.16 No.3 (通巻60号)	2006. 6

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
上林篤幸	OECD Agricultural Outlook and AGLINK model	韓国農村経済研究院 (KREI)	2006.6.19
Tatsuji Koizumi	Bio-fuel policy and food security	International Grains Council Conference 2006, London (International Grains Council)	2006.6.13
Tatsuji Koizumi	Concurrent Ethanol Programs: Impacts on the World Corn Markets	International Grains Council Conference 2006, London (International Grains Council)	2006.6.14
櫻井武司	環境変動下での生態レジリエンスと人間活動	レジリエンスプロジェクト第1回ワークショップ (総合地球環境学研究所)	2006.6.3
Takeshi Sakurai and Kimseyinga Savadogo	Household's Coping with Covariate Shock and Natural Resource Degradation: Evidence from the Ivorian Crisis	日本経済学会 2006 年度春季大会 (日本経済学会)	2006.6.4
佐藤孝一	平成 17 年度農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査結果の概要	平成 17 年度農業融資に関する調査報告会 (農林中金総合研究所)	2006.6.23
高橋祐一郎	失敗と市民参加	お茶の水女子大学公開講座「化学・生物総合管理の再教育講座」リスク事例研究 3 (お茶の水女子大学)	2006.5.20
高橋克也・薬師寺哲郎・平形和世・竹下亜古・福井 誠	「フードシステムにおける安全性の心理評価と構造」	日本フードシステム学会個別報告	2006.6.18
橋詰 登	農業構造分析の視点と手法	平成 18 年度農林水産統計専門職員研修 (大臣官房統計部)	2006.5.17
橋詰 登	農業・農村活性化の統計分析	平成 18 年度農林水産統計専門職員研修 (大臣官房統計部)	2006.5.17
橋詰 登	農業構造分析の視点と手法	平成 18 年度農林水産統計専門職員研修 (大臣官房統計部)	2006.6.6
橋詰 登	農業・農村活性化の統計分析	平成 18 年度農林水産統計専門職員研修 (大臣官房統計部)	2006.6.6
林 岳	マクロ環境会計と農林業の環境評価	システム農学会 2006 年度春季シンポジウム	2006.5.25
樋口倫生	食品安全政策の便益推計——疾病費用によるアプローチ——	日本フードシステム学会 2006 年度大会セッション (フードシステム研究の新領域 Part3) 報告	2006.6.18
山下憲博	日中農民合作組織的差別 (中国語)	日中農民合作組織現場報告会 (於中国吉林省輝南县, 主催: 中国農業科学院農業経済発展研究所日中農業経済研究センター)	2006.6.28
吉田泰治	エクセルを用いた産業連関分析	平成 18 年度専科「産業連関表による経済波及効果分析」 (総務省統計研修所)	2006.5.31～6.2
吉田泰治	原油高騰のフードシステムへの影響	2006 年度日本フードシステム学会大会 (日本フードシステム学会)	2006.6.18
柳 京熙	韓国の対日農産物輸出についての現状と展望	韓国全羅北道庁	2006.6.20